

概要報告

実施期日	7月28日(火)【午後】
部会名	小学校 音楽部会

テーマ 『一人ひとりの子ども達が主体的に取り組む音楽活動をめざして』

～それぞれの思いを生かせるグループ活動を通して～

提案概要

しっかりと声を出して歌っている児童がいる一方で、あまり口を開かずにいる児童も多く、音楽を十分楽しめない様子が見られた。グループ活動を通して、子ども達一人ひとりの個性や能力を生かし、一人ひとりに役割があることで、自己有用感をもたせたい。また、感じ取ったことを言葉で表すなどの言語活動の充実をめざした活動を展開したい。

今回使用した「ロック マイ ソウル」は、**ア**・**イ**・**ウ**のそれぞれのパートだけを繰り返し歌う形にした。この形だと短い時間で覚えることができ、伴奏がなくても歌うことができる。一人ひとりが参加しやすい形で、無理なく歌唱が楽しめるのではないかと考えた。また、ワークシートに付箋をつける方法は、手軽に付けたりはがしたりでき、自分のパートを可視化できる点で採用した。

質疑概要

- ・1グループあたり6人に分けたことで、声量が足りなくなるという課題がでたが、グループ発表だけでなく、クラスで合わせる活動などをしたか。
⇒クラスによっては、合わせる事ができた。ワークシートや拡大コピーを活用して、クラスの中で評判のよかった表現を取り上げて、みんなで取り組んだ。
- ・この教材がもっている音楽的価値をどのようにとらえたか。
⇒原曲がスピリチュアルなので、働きながらも元気よく歌っている音楽のノリのよさを味わえる。また、違う旋律を合わせても、音楽的に合っていく、その音楽的な感覚を培いたい。さらに歌い方の工夫や変化（強弱・クレッシェンド等）の違いを互いに感じながら活動できた。
- ・グループ活動の係分担はどのように設定したか。
⇒今回については、グループ活動が初めてだったこともあり、教師が、リーダー・キーボード等の係を決めた。
- ・本時の流れの中で、どのような問いかけをして活動を始めたか。
⇒1回目はあまりヒントを与えず活動を始め、自分たちで考える時間を保障した。2回目に、①「はじめの全体指導で、**ア**・**アイ**・**アイウ**と増やす活動をしたので、この活動を振り返る」②「**ア**の最後の音が**イ**や**ウ**の始まりであること」③「縦のリズムをそろえることや手拍子をそろえること」を指導した。

研究協議概要

- ・グループ協議および今回の楽曲のグループ練習
- ・「ロック マイ ソウル」の実践説明
- ・グループごとの発表

まとめ概要

- ・自分たちの表現を追求していく上で、言語活動が必然的に生まれる。この際に根拠となるものが、共通事項。
- ・ワークシートの鑑賞等で書かせることを重視すると、評価や思いの表出には役立つが、言語活動は発展しづらい。交流することで、表現が広がり深まっていく。ワークシートは児童の思いの表出や教師の評価に役立つ。
- ・地区の音楽的な取組について。小学校教育や地域の教育力が中学校以降の音楽的な取組につながっている。
- ・著作権について
- ・学校の特色や子どもの実態に合わせて、今回の研修を生かしてほしい。音程をとれない子への手立てとしては、周りとのあたたかい関わりを育てていきたい。また、情意と能力をバランスよく育てていきたい。